

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	テトラcocoアニー天満		
○保護者評価実施期間	令和8年2月2日		～ 令和8年2月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 期限内の回答なし
○従業者評価実施期間	令和8年2月2日		～ 令和8年2月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者との連携が日常的に取れている	日頃から相談しやすい関係作りを心掛けており、随時対応し、情報共有を行っています。	今後も保護者との定期的なフィードバックを行い、児童の状況を共有します。
2	児童の状況に応じた対応を行っている	児童の様子をみながら別室を活用するなど、落ち着いて過ごせる環境調整を行っています。	今後も利用児童の特性に合わせた活動プログラムの充実をはかります。
3	専門的な観点から根拠に基づいた療育・支援を行っているため、支援に対する満足度が高い	心理師や保育士、教員免許保持者など、専門的な観点から支援プログラムを実施しています。	今後も専門性を活かした支援を行っています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員体制に余裕が少ない	人員体制に制約があります。	必要なサービスの整理を行い、業務も分担していきます。
2	研修参加にばらつきがある	研修時間の確保が難しいです。	全体研修の時間を増やしていきます。
3	他児事業所との交流が少ない	個別指導のため、外部との交流が少ないのが現状です。	地域や他事業所との連携の強化を検討いたします。

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	テトラcocoアニー天満		
○保護者評価実施期間	令和8年2月2日		～ 令和8年2月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	48	(回答者数) 24
○従業者評価実施期間	令和8年2月2日		～ 令和8年2月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者との連携が日常的に取れている	日頃から相談しやすい関係作りを心掛けており、随時対応し、情報共有を行っています。	今後も保護者との定期的なフィードバックを行い、児童の状況を共有します。
2	児童の状況に応じた対応を行っている	児童の様子をみながら別室を活用するなど、落ち着いて過ごせる環境調整を行っています。	今後も利用児童の特性に合わせた活動プログラムの充実をはかります。
3	専門的な観点から根拠に基づいた療育・支援を行っているため、支援に対する満足度が高い	心理師や保育士、教員免許保持者など、専門的な観点から支援プログラムを実施しています。	今後も専門性を活かした支援を行っていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員体制に余裕が少ない	人員体制に制約があります。	必要なサービスの整理を行い、業務も分担していきます。
2	研修参加にばらつきがある	研修時間の確保が難しいです。	全体研修の時間を増やしていきます。
3	他児事業所との交流が少ない	個別指導のため、外部との交流が少ないのが現状です。	地域や他事業所との連携の強化を検討いたします。

公表 保育所等訪問支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	テトラcocoアニー天満		
○保護者評価実施期間	令和8年2月2日		令和8年2月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 9
○従業者評価実施期間	令和8年2月2日		令和8年2月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○訪問先施設評価実施期間	令和8年2月2日		令和8年2月20日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	訪問前から訪問後までの家庭・学校との連携が密である	事前に保護者や学校とニーズの聞き取り、打合せを行ったあと、訪問に伺います。 訪問後は学校に報告書を確認してもらったあと、保護者にフィードバックしています。	学校、事業所、家庭でもできる支援を考えて共有する時間を設けています。
2	支援計画に沿って児童のこれからを想定した訪問支援を行っている	ひとりひとりに応じた支援計画を立案し、進学や就職をイメージした上で、どういった支援が効果的かを提案しています。	学習方法や教材など、具体的な提案も行っています。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問件数が契約件数のわりに少ない	児童への直接支援が優先になっています。	必要な業務を整理し、より学校や家庭と連携していきます。
2	訪問に際して外部機関からの助言が少ない	外部機関と連携するケースは多くありません。	外部研修の機会を作ります。